

狭山市公共施設白書



平成28年2月

狭山市

「狭山市公共施設白書」の発行にあたって

本市では、昭和 40 年代から、人口増加に伴ってその需要に応えるために、学校や公営住宅など様々な公共施設を建設してきました。

現在、この集中的に建設された公共施設の大半が築 30 年以上を経過してきており、近い将来で一斉に施設の建替えや大規模改修といった老朽化対応を迫られる次期を迎えることとなります。そのため、施設の建替えや大規模な修繕等の費用が増加し、大きな財政負担となることが心配されています。

また、本市を取り巻く社会情勢は、少子高齢化の進行や人口減少社会の到来、労働人口の減少など、公共施設の多くが建設された当時と比較して大きく変化してきています。本市の人口構造も大きく変化するとともに、公共施設に対するニーズにも変化をもたらし、施設の需要と供給に差が生じるなど課題が表れてきています。

このような課題を解決するために、市が保有している公共施設について様々な点から把握し、課題をとりまとめた「狭山市公共施設白書」を作成しました。

今後は、この公共施設白書をもとに、市民の皆様と情報を共有し、本市の公共施設のあるべき姿について共に検討してまいりたいと考えております。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

平成 28 年 2 月
狭山市長 小谷野 剛

狭山市公共施設白書

目次

第1章 狭山市の市勢

1. 市の概況	
(1) 概要	1
(2) 沿革	2
(3) 市民の1日の流出入状況	3
(4) 道路・鉄道等の状況	4
2. 市の人口特性	
(1) 市の人口推移	5
3. 地区等の特性	
(1) 地区区分	7
(2) 地区別・年齢階層別の人口の状況	8
第1章のまとめ	10

第2章 市の財政状況及び保有する資産の有効活用の必要性

1. 歳入・歳出の状況	
(1) 歳入の状況	11
(2) 歳出の状況	12
2. 投資的経費の状況	14
3. 保有する資産の状況	
(1) 公共施設等の内訳	15
(2) 公共施設の築年別整備状況	19
(3) 公共施設の8地区ごとの状況	20
(4) 公共施設の耐震化状況	21
4. 今後の施設の建替え・改修にかかるコスト試算	
(1) 公共施設のコスト試算	22
(2) インフラ施設のコスト試算	25
(3) 公共施設とインフラ施設を合わせた今後の更新コスト	29
5. 資産の有効活用の必要性	30
第2章のまとめ	31

第3章 用途別の実態

1. コスト情報とストック情報の把握	32
2. 公共施設の建物総合評価	33
3. 用途別実態把握の対象施設	35
4. 用途別の実態	
(1) ホール等	42
(2) 市民活動施設	51
(3) 公民館	67
(4) 集会所等	82
(5) その他集会施設	94
(6) 図書館	97
(7) 博物館等	109
(8) スポーツ施設（屋内）（屋外）	116
(9) 観光・保養施設	133
(10) 産業・労働施設	146
(11) 小学校・中学校	161
(12) その他教育施設	176
(13) 幼稚園・保育所	184
(14) 総合子育て支援センター	200
(15) 児童館	207
(16) 学童保育室	221
(17) 老人福祉センター	232
(18) 障害者福祉施設	242
(19) 保健・福祉施設	250
(20) 医療施設	265
(21) 市庁舎	272
(22) 地区センター、市民サービスコーナー	276
(23) 市営住宅	286
(24) 供給処理施設	293
(25) 駐車場	299
(26) 消防・防災施設	306
(27) 水道施設	312
(28) その他施設	315
(29) 未利用地	320

第4章 公共施設の老朽化状況の把握	
1. 構造躯体の健全性把握	323
2. 躯体以外の劣化状況の把握	327
3. これまでの維持管理のあり方	339
第4章のまとめ	340
第5章 8地区毎の公共施設の状況と課題	
1. 8地区毎の公共施設を通じた行政サービスの実態	341
第5章のまとめ	358
第6章 今後の公共施設のあり方	
1. 実態・課題のまとめ	359
2. 今後の進め方	363

～ 本書を読む際の注意事項 ～

1. 対象施設及び用語について

本書では、本市が保有する土地、建築物を対象とし、以下のとおり用語を取り扱っています。

「公共施設」・・・本市が保有・管理する学校や市営住宅などの建築物

「インフラ施設」・・・道路、橋りょう、上下水道、配水場などの施設

「未利用地」・・・本市が保有する土地財産で今後の利用が定まっていない土地

「公共施設等」・・・上記の総称

2. データについて

- ・ 本書におけるデータは「平成26年度」を基本に用いています。
- ・ 各施設の延床面積は「公有財産台帳」に登録されている数値を用いています。

3. 端数処理

- ・ 文章中の数値は「億円」、「万円」、「%」等で記載しているため、グラフの数値と一致しないことがあります。また、図及び表のデータ数値も端数処理をしているため、合計と一致しない場合があります。また、数値については、「約」を付けずに表記している場合があります。
- ・ 図及び表のデータ数値も端数処理をしているため、合計と一致しない場合があります。